

# 令和7年度 学校推薦型選抜試験

## 小論文

### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 試験開始の合図があった後、最初に問題用紙と解答用紙の確認を行ってください。問題用紙はA4版片面1枚（表紙は除く）で、解答用紙はA3版片面1枚です。枚数の不足、重複のないことを確認してください。  
また、印刷が不鮮明な場合は、手を挙げて試験監督員に知らせてください。
3. 受験番号の記入漏れ又は誤記があった場合は失格になります。
4. 解答は、解答用紙に、横書きで記入してください。
5. 下書きは、別紙の下書き用紙を使用してください。
6. 数字2文字以上を続けて記入する場合は、次のように記入してください。

例① 2024年 → 

20	24	年
----	----	---

例② 99.9% → 

99	.	9	%
----	---	---	---

7. 濁音（が、ぎ、ぐ・・・）、半濁音（ぱ、ぴ、ぷ・・・）は1文字として記入してください。
8. 体調不良やトイレに行きたい場合などは、黙って、手を上げてください。  
それ以外の途中退室は認めません。
9. 試験監督員の試験終了の合図と同時に解答するのをやめて、着席したまま試験監督員の指示を待ってください。
10. 解答用紙は、未記入のものも含めすべて回収します。なお、問題用紙及び下書き用紙は、持ち帰って構いません。

## 令和7年度 学校推薦型選抜小論文試験問題

### 【問】

次の文章と表は、それぞれヤングケアラーに関する調査結果を示している。これらの文章と表を基に、ヤングケアラーにはどのような影響が生じやすいか、あなたの考えを800字以内で述べなさい。

#### ヤングケアラーの出現率

厚生労働省の調査研究事業として、全国の中学2年生と高校2年生の約1割に対して行われた調査の結果では、中学2年生で5.7%、全日制高校2年生で4.1%いることが分かった。少ないようだが中学2年生で約17.5人に1人、高校2年生で24.4人に1人で、各クラスに2人程度はいる計算になる。

これまでヤングケアラーについては学校や市区町村の子ども家庭相談担当者等に対して調査が行われていたが、今回の調査は子ども自身に対して直接、全国規模で行われた調査として結果が注目された。

#### ケアをする頻度

(%)

区分	回答数(人)	ほぼ毎日	週3~5日	週1~2日	1か月に数日	その他	無回答
中学2年生	319	45.1	17.9	14.4	4.7	4.1	13.8
全日制高校2年生	307	47.6	16.9	10.4	6.8	2.0	16.3
定時制高校2年生相当	31	35.5	12.9	16.1	3.2	12.9	19.4
通信制高校生	49	65.3	26.5	2.0	2.0	2.0	2.0

#### 1日当たりのケアに従事する時間(平日)

(%)

区分	回答数(人)	3時間未満	3~7時間未満	7時間以上	無回答
中学2年生	319	42.0	21.9	11.6	24.5
全日制高校2年生	307	35.8	24.4	10.7	29.0
定時制高校2年生相当	31	19.4	25.8	9.7	45.2
通信制高校生	49	30.6	34.7	24.5	10.2

・「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。(こども家庭庁)

### 【改変引用】

安部計彦. 新型コロナの影響とヤングケアラー 2. ヤングケアラー (日本子ども資料年鑑2022), pp25-pp27, 恩賜財団母子愛育会 愛育研究所, 東京, 2022.